

りそな 経済フラッシュ

(米国2018年10-12月期GDP速報)

◎注意事項をよくお読み下さい

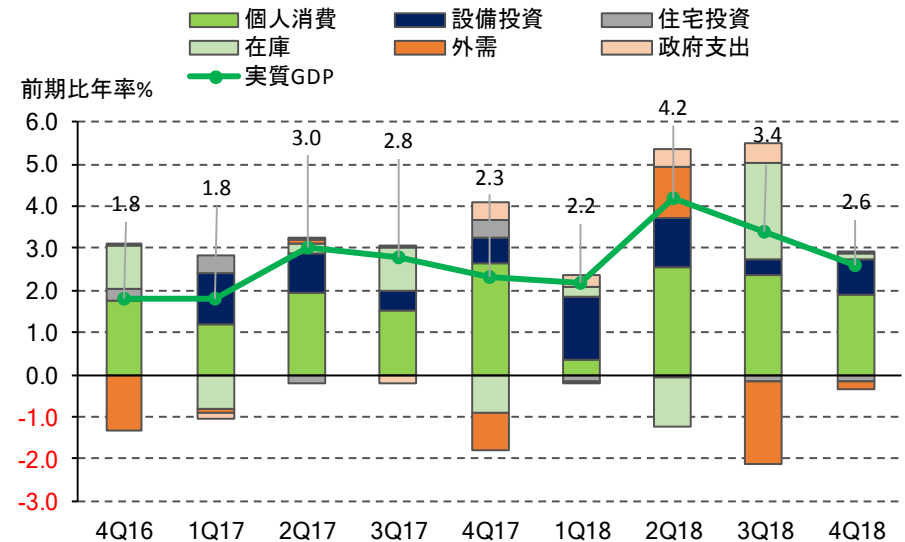


○概況

- ◆ 10-12月期実質GDP成長率は前期比年率+2.6%
- ◆ 設備投資が大きく増加し市場予想に反して前期から伸びが拡大
- ◆ コアPCE価格指数は前期比年率+1.7%と伸びが拡大

- ✓ 2018年10-12月期実質GDP成長率は前期比年率+2.6%となった（市場予想+2.2%、7-9月期+3.4%）。尚、コアPCE価格指数は前期比年率+1.7%と伸びが拡大した（7-9月期+1.6%）。
- ✓ 個人消費は前期比年率+2.8%（市場予想+3.0%、7-9月期+3.5%）と伸びが縮小。耐久財（7-9月期+3.7%→10-12月期+5.9%）は伸びが拡大、非耐久財（+4.6%→+2.8%）、サービス（+3.2%→+2.4%）はそれぞれ伸びが縮小。
- ✓ 設備投資は前期比年率+6.2%（7-9月期+2.5%）と伸びが拡大。内訳をみると、構築物（▲3.4%→▲4.2%）、知的財産（+5.6%→+13.1%）、機器（+3.4%→+6.7%）の伸び率が低下。住宅投資は前期比年率▲3.5%（7-9月期▲3.6%）となった。
- ✓ 在庫は前期比年率ベースでの寄与度が+0.13%ポイント（7-9月期+2.33%ポイント）とプラス寄与。
- ✓ 輸出は前期比年率1.6%（7-9月期▲4.9%）、輸入は+2.7%（7-9月期+9.3%）で外需はマイナス寄与となった。
- ✓ 政府支出は前期比年率+0.4%（7-9月期+2.6%）で伸びが縮小。内訳は連邦政府支出が+1.6%（同+3.5%）、州・地方政府支出は▲0.3%（同+2.0%）。
- ✓ コアPCE価格指数（食品・エネルギーを除くベース）は+1.7%（7-9月期+1.6%）で伸びが拡大した。
- ✓ 設備投資が予想以上の伸びを示したものの、今後は減税効果の剥落も予想される中で一時的とみられる。個人消費は予想を若干下回るものの堅調な伸びを示し、昨年12月の小売売上高が大幅減少したことへの懸念を払しょくする内容。雇用情勢が良好ななか、引き続き個人消費中心に米国経済は堅調な推移が続くだろう。

【実質GDP成長率（季節調整済、年率）】



【実質GDP成長率寄与度（季節調整済、年率）】

	2017Q4	2018Q1	2018Q2	2018Q3	2018Q4
実質GDP	+2.3	+2.2	+4.2	+3.4	+2.6
個人消費	+2.6	+0.4	+2.6	+2.4	+1.9
設備投資	+0.6	+1.5	+1.2	+0.4	+0.8
構築物	+0.0	+0.4	+0.4	▲0.1	▲0.1
機器	+0.6	+0.5	+0.3	+0.2	+0.4
知的財産	+0.0	+0.6	+0.5	+0.3	+0.6
住宅投資	+0.4	▲0.1	▲0.1	▲0.1	▲0.1
在庫	▲0.9	+0.3	▲1.2	+2.3	+0.1
外需	▲0.9	▲0.0	+1.2	▲2.0	▲0.2
輸出	+0.8	+0.4	+1.1	▲0.6	+0.2
輸入	▲1.7	▲0.5	+0.1	▲1.4	▲0.4
政府支出	+0.4	+0.3	+0.4	+0.4	+0.1

【出所】米商務省、Haver Analytics

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。